

## 大牟田合材工場が完成

三井住建道路が福岡県大牟田市健老町の大牟田エコタウン内に建設を進めていた「大牟田合材工場」が完成し、16日に竣工式・火入れ式



完成した新プラント

が開かれた。新施設はカーボンニュートラル(CN)に向けた取り組みとして同社のプラントでは初めて天然ガス由来のGTL燃料を使用するなど最新の環境負荷低減対策の設備を導入。二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量は従来比約49%の削減を見込む。式には約90人が参加。人

CO<sub>2</sub>排出量を49%削減

と環境に配慮したエコプラントの完成を祝った。22日に稼働を開始する。

式では火入れの儀で同社の連井肇社長、椎名厚九州支店長、篠原佳希大牟田合材工場長らがスイッチを押した。式には約90人が参加。人

き起こった。その後、祭壇に玉串をささげ、新工場の円滑な運営と業績の拡大を祈願した。

直会で連井社長は「今後も多様なニーズに応えながらこれまで以上に安全かつ高品質でCNを目指した環境に優しい、安心な製品を提供していく」とあいさつ。

来賓の大牟田市の副枝修副市長は「大牟田エコタウン事業が目指すゼロエミッションに大きく寄与する」と期待を込めた。

施工者を代表してアスファルトプラントの設計・施工を担当した田中铁工(佐賀県基山町)の末吉文晴社長は「騒音、粉じん、省エ



火入れの儀

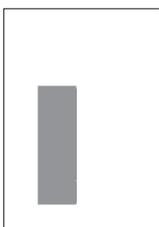
スファルトプラントは再生合材で1時間当たり最大90トの生産能力を備え、合材サイロ貯蔵能力は120ト。破碎プラントの生産能力は1時間当たり80〜100ト。

低炭素アスファルト混合物を製造できるフォームドアスファルト装置を設置。GTL燃料は重油に比べCO<sub>2</sub>排出量を約12・5%削減でき、場内の重機にも使用する。太陽光発電設備を設置し、事務所やアスファルトプラントのヒーター関係に自家発電電力を供給する。

ネ性や今後のSDGs(持続可能な開発目標)を意識したプラントとなっている」と述べ、謝意を示した。

同市新港町の老朽化した大牟田合材工場を移転建て替えた。ア

破碎プラントの設計・施工は中山鉄工所(佐賀県武雄市)が担当。ヤードなどはサンコービルド(福岡市博多区)、事務所は大平建工(大牟田市)が施工した。



# 大牟田合材工場で火入式

## GTL採用のエコプラント



完成した大牟田合材工場

三井住建道路は16日、福岡県大牟田市の大牟田エコタウンに移転新築した大牟田合材工場で竣工・火入式を開いた。22日から本格稼働する。

火入れの儀では、三井住建道路の蓮井肇社長、椎名厚九州支店長、篠原佳希大牟田合材工場長のほか、来賓の副田修大牟田市副市長、施工者代表の松川伸太郎サンコービル

ド社長の5人が点火スイッチを押した。

神事の後、蓮井社長は「プ



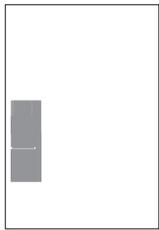
点火スイッチを押す蓮井社長（中央）ら

ラントの老朽化への対応と今後の事業拡大、環境負荷の低減を見据え、新プラントを建設した。環境にやさしく地域に貢献するエコプラントであり、今後も多様なニーズに对应え、安全で高品質、環境にやさしい製品を提供していく」とあいさつした。

副田副市長は「アスファルトの資源循環は大牟田市のゼロ・エミッション構想に貢献する」と関好孝市長の祝辞を代読した。田中鉄工の末吉文晴社長は施工者を代表し、「無事故で工事を完了した。

CO<sub>2</sub> 排出量の削減に貢献できるプラントであり、ご満足いただけると思う」と述べた。

新プラントは、CO<sub>2</sub> 排出量を削減するフォームドアスファルト装置や天然ガス由来の液化燃料であるGTL（ガス・ツール・リキッド）燃料を採用し、骨材ヤードと事務所棟には太陽光発電システムを備える。設計施工は、アスファルトプラントが田中鉄工、破碎プラントが中山鉄工所、ストックヤードなどがサンコービルド、事務所は大平建工が担当した。



# 大牟田合材工場が完成

## 竣工・火入式を挙行

地域密着型 環境負荷低減対策も

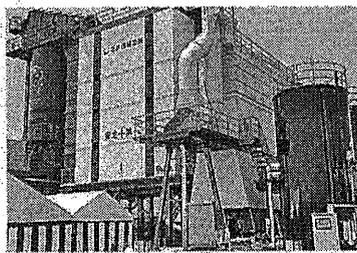
三井住建道路

安全で快適な社会インフラ整備を推進する三井住建道路(株)連井藤代表取締役社長は、環境負荷低減対策を講じた地域密着型の工場として、大牟田エコタウン内(大牟田市健老町)に大牟田合材工場が完成したことに伴い、16日に現地で竣工式・火入式を行った。22日から本格操業を開始する。



「合材プラントは、カーボンニュートラルに向け、安全かつ高品質なニーズに応えながら安全かつ高品質な環境にやさしい安心な

た設備の更新、今後の事業拡大を見据えて建設した。燃料も重油からGTL燃料に変更し、太陽光発電を設置するなど、人と環境に配慮したエコプラントとなっている。今後、多様なニーズに応えながら安全かつ高品質な環境にやさしい安心な



に、太陽光発電システムを設置するなど環境に配慮したエコプラントとなっている。  
竣工式・火入式では、三井住建道路(株)連井藤社長、同社九州支店権名厚支店長、同社大牟田合材工場篠原佳希工場長、福岡県アスファルト合材協会三橋雅之副会長らによって火入の儀および玉串奉奠等が行われた。篠原工場長は「地域貢献・密着型で運営していくとともに、さらなる出荷増を目指す」と話す。  
〔写真は火入の儀と工場全景〕